

令和 4 年度 第 1 回
北部地区医師会病院・琉球大学病院「グループ指定」に関するがん診療連携会議
議事要旨

日時：令和 4 年 12 月 13 日（火）16：30～17：02

場所：WEB 開催

（参加者 4 名）

北部地区医師会病院 病院長 諸喜田林先生

副院長 柴山順子先生

副院長 照屋淳先生

琉球大学病院 増田昌人（がんセンター）

（欠席者 1 名）

北部地区医師会病院 外科外来医長 野里栄治先生

（陪席者 2 名）

琉球大学病院 有賀 拓郎 先生（診療情報管理センター）

がんセンター事務

< 報告事項 >

1. 令和 3 年度第 2 回北部地区医師会病院・琉球大学病院「グループ指定」に関する
がん診療連携会議 議事要旨の確認

資料 1 の確認がされ、承認された。

< 協議事項 >

1. 整備に関する指針における「グループ指定」の更新について

資料 2 に基づき、変更のあった指定要件に関する指針からグループ指定について報告された。地域がん診療病院とがん診療拠点病院との組み合わせを調整決定するという点は大きな変更はなかった。協議事項 2～8、下記 7 項目の連携に関して、不足がないか確認し合った。

①. 連携協力による手術療法、放射線療法、薬物療法の提供体制の整備について

肺がん手術と放射線療法については、琉大に依頼をかけており対応出来ている。薬物療法に関しては、第 1 外科同士でやり取りできている。

②. 標準的な薬物療法を提供するためのレジメン審査等における支援について

北部地区医師会でもレジメン審査を行っており、一部、第 1 外科と相談する内容もある

が、特に問題なく出来ている。

③.連携体制を確保するための定期的な合同カンファレンスの開催について

毎月1回、第1金曜の北部地区医師会病院のキャンサーボードに、有賀先生が参加しており、放射線療法や治療法についてディスカッションし、患者さんを紹介しているので、クリアしている。

④.連携協力により相談支援や緩和ケアを充実させる体制整備について

③のキャンサーボードで出た症例から、緩和ケアに関することも含めて対応している。北部地区医師会には、認定看護師が3名在籍しており、医師と調整して対応しているが、困った事例等は確認し合っている。琉大でも緩和照射を受けているので、必要な症例は琉大に回しており、入院・外来・転院も含めて、連携室を通して調整できている。神経ブロックについて、北部地区医師会の麻酔科では対応できることを医師に確認がとれているが、症例がそこまであるわけではない。週2回、琉大から麻酔科の医師が北部地区医師会へ来ているので、必要な状況を早めにキャッチし連携とれる状況を作っていく予定。

⑤.診療機能確保のための支援等に関する人材交流の計画策定及び実行体制の整備について

琉大の第1外科と第1内科から、北部地区医師会へ行っている。現状、特に確認することや問題はないようだった。

⑥.診療機能確保のための診療情報の共有体制の整備について

③のキャンサーボードで、有賀先生が提供している放射線治療の情報があたるので、満たしている。また、離島へき地部会で、診療体制について確認し、内容をHPでオープンにしている。

⑦.病院HP、パンフレット等による連携内容、実績等の広報について

両院、不足なく、広報できている。

以上